

福祉予算削るな!

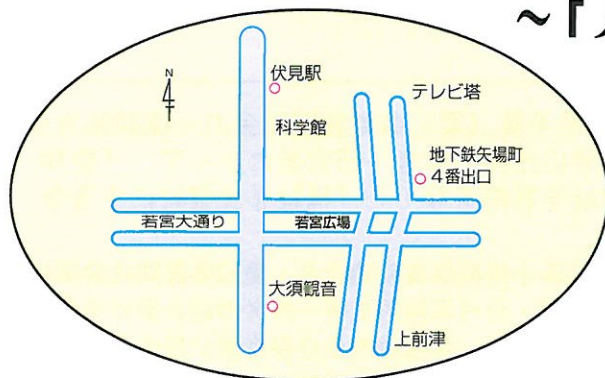
皆さんもご参加下さい

福祉を金儲けにするな!

10.28 愛知県民集会



いのちと暮らしを脅かす
「原発」「市場原理」「消費税増税」はいらぬ
～「人権」が尊重される社会の実現を!



日時 2012年10月28日(日)

10:00 ~集会

11:15 ~パレード

(小雨決行)

場所 若宮広場

主催：第14次福祉予算削るな! 福祉を金もうけにするな! 愛知県民集会実行委員会

問い合わせ先：全国福祉保育労働組合東海地方本部 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館405 TEL 052-881-2971 FAX 052-881-2998

大増税と社会保障の解体を押し付ける 「一体改革」

8月に、国民の多数が反対する消費税増税法が強行採決され成立しました。消費税は子ども、障害者、年金生活者にも容赦なく課税され、低所得者ほど負担が重い不公正な税金です。消費税増税は、貧困と格差を広げる「生活破壊税」といえるものです。民主党政権は、増税分は社会保障財源にと言ってきましたが、実際には医療費の窓口負担増、介護の負担増、年金給付の減額、子ども手当の減額など改悪を進めています。しかも、3党合意により、「附則18条2項」が差し込まれ、消費税増税分でういたお金を「公共事業」に使うことが出来るしくみに作り替えました。

さらに、突如「社会保障制度改革推進法」を加え、社会保障の基本は「自助」「自立」として、憲法25条に基づく「権利としての社会保障」を否定し、社会保障費の「抑制」を進めようとしています。

しかし、消費税増税実施は正式に決まったわけではありません。増税の是非は衆議院選挙後の新政権が判断することになります。次の衆議院選挙で増税反対が多数派になればストップできます。

福祉制度の現状／予算削減と福祉を金儲け にするため「市場化」を促進

消費税増税と同時に「子ども・子育て新システム」関連法も可決されました。市町村の保育実施義務は残ったものの、要保育時間の認定、個人給付方式への移行など保育の市場化を進めます。

学童保育は、国の予算が少ない上に、県の単独補助がなく、拡充の多くは市町村と保護者の負担に頼っています。市町村が負担を増やさなければ利用者増に対応できない状況です。

4月より、障害児施策は児童福祉法に一本化されましたが、自己負担の仕組みは自立支援法の時のままです。介護保険も4月の報酬改定によって、ヘルパーの生活援助の基本時間が1時間から45分に短縮されたり、デイサービスの時間区分も変更され、現場は混乱しています。

障害者の分野では、障害がない人と同じスタートラインに立つための、「権利としての支援を認めない法律」が、障害者の声を無視して成立しました。

そして、愛知県では、今、「福祉医療制度の見直し」を検討しています。子ども・障害者・母子家庭等・高齢者医療の対象者が削減され、一部負担金や所得制限の導入が心配されます。

命と地域社会を破壊する原発は廃止を！

事故原因も安全性も確認しないまま、大飯原発再稼働が強行されました。原発事故は、生命と地域社会を破壊し地球全体にはかり知れない環境汚染をもたらします。

戦後世代は戦中派にききました。「なぜ戦争に反対しなかったの？」 未来の世代は私たちにきくでしょう。「なぜ原発を止められなかったの？」 まちがいなく今こそが歴史の分岐点です。

「人権」が尊重される社会の実現を！

多くの国民の反対の中、原発再稼働や社会保障改悪・庶民増税を強行するのも根は同じです。国民の声を聞かず、大企業や米国の言いなりになり、一部の人たちの利益だけが優先されています。

県民集会実行委員会は、命と暮らしを脅かす「原発」「市場原理」「消費税増税」をやめさせ、「人権」が尊重される社会の実現をめざします。

「愛知県民集会実行委員会」とは… 1999年度の愛知県予算（案）県単独補助金の一律30%カットが提案されたことをきっかけに、労使・公民・多くの福祉関係団体と学者・研究者によって、「愛知県民集会実行委員会」が発足しました。以来14年、毎年「福祉予算削るな！」「福祉を金儲けにするな！」の声を上げ続けて、この秋の時期に集会を行っています。

参加団体：愛知学童保育連絡協議会・愛知県共同保育所連合会・愛知県小規模保育所連合会・愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議・愛知保育団体連絡協議会・きょうされん愛知支部・全日本建設交運一般労働組合愛知学童保育支部・全国福祉保育労働組合東海地方本部・名古屋市学童保育連絡協議会・名古屋市公立保育園父母の会・名古屋市職員労働組合・名古屋市職員労働組合福祉支部・日本自治体労働組合総連合愛知県本部